

みんなでお散歩

6月1日は遠足でした。お友達と手を繋いで園周辺をみんなでお散歩を楽しみました。お家の人と一緒に手を繋ぐことはあってもお友達と一緒に、となるとちょっぴりドキドキのほしぐみさん。園から一歩飛び出すとたくさんの発見がありました。「先生待って！アリのいるよ！」「見て！飛行機！」「飛行機からまっすぐ線が出る！」など、こども達の興味はいたるところにあるのです。こども達の目線で一緒に飛行機雲をじっくり見たり、虫や花を観察したりすると、普段の街並みも少しだけ特別に感じられましたよ。

今回の遠足の目的地はしらゆき公園でした。公園でもシャボン玉をしたり、みんなでおやつを食べたりと戸外の心地良さを十分に感じながら楽しい時間を過ごすことができました。お昼ごはんも公園で食べ、大満足の日となりました。



ほしぐみだより

ほろむい認定こども園とことん 令和3年6月30日

3歳児ってこんな時期

毎日とことんで思い切り遊ぶ中で少しずつこども同士の関わりも深まってきました。これまでは大人とばく・わたしの関係性が大きな時期でしたが、3歳児になったお子さんは同年齢のこども同士の関わりが大きくなる時期になりました。

ほしぐみのみんなの遊びの様子を見てみると、友達の名前を呼びながら一緒に遊びたい！という気持ちを表現し、同じ遊びを共に楽しんだり、時には「〇〇くんは入っちゃダメ！」と仲間に入ることを拒まれたり…という場面を見かけることもあります。「△△ちゃんがダメって言った。」と悲しそうなお子さんの表情を見ると心配になりますよね。でも実は、こども達のこのような言動は一緒に遊んでいる仲間に対する親しさやこだわりが出てきた証なのです。とことんでは、このような場面を見かけたら、単に「一緒に遊ぼうか」と促すのではなく、拒まれたこどもの悲しい気持ちに寄り添いながら、拒んだこどもの「どうして入れてあげたくないのか」という気持ちを双方が伝え合い、理解ができるように、こども同士の間を取り持ちながら関わっています。ここからさらにこども同士のいざこざに発展することもあるのですが、それもいい経験！やりとりを通してお互いの気持ちに気づき、相手には相手の言い分があることを知り、人に対する思いやりを学ぶ貴重な機会と考えています。

とはいえ、どんな状況であっても実際に我が子が「みんなが仲間に入れてくれなかった」と言い出すと心配でたまらないんですよね。うちの子、こうやって言ってたけどどうなんだろう、と思ったら職員まで気軽に声をかけてくださいね。

自分でやってみよう

早いもので進級、入園から3ヵ月が過ぎましたね。慣れ親しんだお部屋からのお引越し、大好きなおうちの人から離れて不安な気持ち…それらを乗り越え、どの子もこれまでとは違う生活環境でたくさんの刺激を受けながらたくましく過ごしています。

4月当初は「できない！」と困っていることを全力でアピールしてくれていたこども達ですが、最近は戸外に出る際に自分の靴を見つけると左右を確認しながら自力で履く姿や、服が汚れてしまった時には自分で衣類ケースを引っ張り出して着替えをする姿など、自分でできることは自分でやってみようと頑張っています！



ENJOY! 絵の具

ある天気の良い日のこと、しょうた先生の「今日は絵の具で遊ぼう！」の声に「やりたーい！」「ピンク使おうー！」「おれはやらなーい！」とこどもの数だけ様々な返事が。しらゆき公園に模造紙を広げ、手も足も顔も絵の具だらけにして、絵の具のヌルっとした感触やひんやりとした心地良さなどを感じながら思う存分楽しみましたよ。



おねがい

- ★園生活でオムツを使わなくなった場合はオムツの持ち帰りをお願いいたします。
- ★毎日、ウォールポケットの中身（おはようブックだけでなく、お子さんの作品等）の持ち帰りをお願いいたします。